

まるごと体験!

# 帯広市野草園 ガイド

四季の草花も楽しむことができる

## 帯広市野草園

北海道の春は、遅い雪解けとともに始まります。4月初旬、まだここかしこに消え残っている雪を割ってフキノトウが顔を出すのを合図に、長い冬を堪え忍んできた草木達が一斉に芽吹き、やがて色とりどりの花を咲かせます。

夏は、樹木が生い茂り、訪れる人たちに木陰の涼しさを提供しています。その分、草花たちには条件が悪いのですが、そんな中でも彼らは元気に花を咲かせています。

秋は、樹木が紅葉し、冬に向けて少しずつ落葉し始めます。一方、草花たちは冬の訪れを前に最後の余力で一杯に花を咲かせます。

### 帯広市野草園の概要

- 目的** 雄大な十勝平野に広く自生していた野草も、年とともに姿を消していく状況にあります。この貴重な自然を保存して、児童生徒の理科教育に役立たせ、自然観察の態度と自然を愛する心情を養い、あわせて市民の散策の地とし、自然への親しみを深めることを目的として昭和33年7月に開園したものです。
- 場所** 帯広市緑ヶ丘公園内
- 面積** 約43,530平方メートル
- 植物の種類** 82科 380余種
- 開園期間** 4月29日～10月31日(9:00～16:30)  
※ただし、10月中は午後4時閉園となります。
- その他** 園内には散策路を設けてあり、草木に名札をつけ、植生を見やすくしています。また、野鳥やリスなどの保護につとめています。

### 園内のマナーについて

- ・園内の植物の採集はご遠慮ください。
- ・植物の名前を書いた立て札に手をふれないでください。
- ・園路以外の通行はご遠慮ください。
- ・園内での飲食はご遠慮ください。
- ・他の散策者の迷惑になる行いはご遠慮ください。

### Access



帯広百年記念館の駐車場をご利用ください。

**帯広市野草園**  
 管理：帯広市児童会館  
 北海道帯広市緑ヶ丘2番地（緑ヶ丘公園内）  
 TEL.0155-24-2434 FAX.0155-22-5401  
[http://www.city.obihoro.hokkaido.jp/yasouen/ayasou\\_yachou\\_2.html](http://www.city.obihoro.hokkaido.jp/yasouen/ayasou_yachou_2.html)

### 夏の草花

Summer



オオバユリ (ユリ科)

高さ1.5メートルにもなる大型の多年草で、茎の上部に緑白色の花を10～20個横向きにつけます。地下の鱗茎は昔、食用とされました。

ユキザサ (ユリ科)



エゾカンゾウ (ユリ科)



ヤナギトラノオ (サクラソウ科)



ヒオウギアヤメ (アヤメ科)



コンロンソウ (アブラナ科)



エゾノサワアザミ (キク科)



ニガナ (キク科)



ウツボグサ (シソ科)



エダウチチゴユリ (ユリ科)



エゾノシモツケソウ (バラ科)



カラマツソウ (キンポウゲ科)



エゾクガイソウ (ゴマノハグサ科)



ツリガネニンジン (キキョウ科)



オカトラノオ (サクラソウ科)



クサレダマ (サクラソウ科)



タチギボウシ (ユリ科)



### 秋の草花

Autumn



エゾトリカブト (キンポウゲ科)

花茎は、70～120センチメートルで花のつくころの頭部が下がり気味の多年草です。トリカブトの仲間の分類はむずかしいですが、毒性の特に強いオクトリカブトもあります。花の形は長くとがり兜のように見えることから名づけられました。

シュロソウ (ユリ科)



ヤマブキシヨウマ (バラ科)



ミズヒキ (タデ科)



キンミズヒキ (バラ科)



ナガボシロワレモコウ (バラ科)



ユウゼンギク (キク科)



イシミカワ (タデ科)



ヒヨドリバナ (キク科)



オオイタドリ (タデ科)



ミゾソバ (タデ科)



ヤマハハコ (キク科)



エゾゴマナ (キク科)



シラヤマギク (キク科)



アキノキリンソウ (キク科)



サラシナショウマ (キンポウゲ科)



エゾリンドウ (リンドウ科)







おびひろ動物園駐車場

# 園内見取図



# 春の草花

## Spring

<p><b>ミズバショウ</b> (サトイモ科)</p> <p>雪解けの後すぐに、白い仏炎苞につつまれた花茎をのぼし、10〜30センチメートルほどになります。花は黄色で、葉は花よりおくれ出て1メートルほどにもなります。</p> 	<p><b>ニリンソウ</b> (キンポウゲ科)</p> 	<p><b>オオアマドコロ</b> (ユリ科)</p> 	<p><b>コウライテンナンショウ</b> (サトイモ科)</p> 
<p><b>オオバナノエンレイソウ</b> (ユリ科)</p> 	<p><b>コケイラン</b> (ラン科)</p> 	<p><b>シラネアオイ</b> (キンポウゲ科)</p> 	<p><b>ベニバナヤマシャクヤク</b> (キンポウゲ科)</p> 
<p><b>カタクリ</b> (ユリ科)</p> 	<p><b>エゾノリュウキンカ</b> (キンポウゲ科)</p> 	<p><b>マイヅルソウ</b> (ユリ科)</p> 	<p><b>クサノオウ</b> (ケシ科)</p> 
<p><b>ガゼンソウ</b> (サトイモ科)</p> 	<p><b>アズマイチゲ</b> (キンポウゲ科)</p> 	<p><b>クロユリ</b> (ユリ科)</p> 	<p><b>クサノオウ</b> (ケシ科)</p> 

## これは何という草花かな？ 間近で見ると こんなにユニーク



<p><b>オクエゾサイシン</b></p> <p>葉の下に花が咲きます。ヒメギフチョウの食草です。</p> 	<p><b>バイケイソウ</b></p> <p>種から発芽して花が咲くまで90年から95年もかかるそうです。</p> 
<p><b>エゾニュウ</b></p> <p>高さが1m〜3mで太くて巨大な多年草です。草原の王者といわれます。</p> 	<p><b>クルマバツクバネソウ</b></p> <p>花の形がお正月に羽子板でつく羽に似ています。</p> 

## 見つけよう！ おもしろスポット

**小川の近くや池を見よう！**

野草園の西奥、八千代線沿いに小川が流れて池に注いでいます。小川沿いにはエゾノリュウキンカが満開です。池にはオタマジャクシがいます。



**カタクリの種をまいて観察してみよう！**

カタクリの種をアリのいるところにまくとアリがせっせと運びますよ。

